

警 察 署 協 議 会 会 議 録

小郡警察署協議会

開催年月日時	令和2年8月19日 午後4時00分から 令和2年8月19日 午後5時00分まで	
開催場所	小郡警察署3階大会議室	
出席者	警察署協議会	会長以下7名
	警察署	署長、総務課長、会計課長、生活安全課長、 刑事課長、交通課長、警備課長、地域課長
議 事 概 要		
<p>【会長挨拶】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 小郡警察署の平素の尽力に感謝している。 ○ コロナウイルスの影響で、今年度初の協議会開催となったが、よろしく願います。 <p>【署長挨拶】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 久しぶりの協議会開催であり、途中、リモートでの協議会開催も模索したが、セキュリティ上の脆弱性から情報が漏れる恐れなどもあるため、断念した。 ○ 幸い、当署においては家族も含め、コロナウイルスの感染者はいない。 ○ 今後も様々な面でお世話になると思うが、よろしく願います。 <p>【管内の治安情勢説明】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 刑法犯等認知状況（生活安全課長） <ol style="list-style-type: none"> (1) 7月末現在の刑法犯認知状況について (2) 7月末現在の前兆事案認知状況について 2 交通情勢（交通課長） <ol style="list-style-type: none"> (1) 7月末現在の人身交通事故発生状況について (2) 7月末現在の校区別人身交通事故発生状況について (3) 交通安全の取組について <p>【質疑応答】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 委員から「小郡高校横の道路に引いてある自転車通行帯のラインが中途半端であり、朝の通学時に高校生がぶつかりそうになっているが、予算がないためにラインを引けないという話を耳にした。」旨の意見があり、併せて別の委員から「クラウドファンディング等、民間ベースでも予算対応できないか。」旨の意見があり、交通課長から「ライン等の施工は道路管理者が行うものであり、予算の兼ね合いもある。警察からも複数の場所について施工要望を行っているところであり、引き続き道路管理者と連携を図っていく。」旨の回答があった。 		

議 事 概 要

- 委員から「高齢者関連の人身事故について説明があったが、ブレーキとアクセルを踏み間違えて発生するものが多いのか。」旨の質疑があり、交通課長から「うっかり事故が多いが、先程の説明は高齢者が被害者になったものも含まれており、横断歩道外を横断中にはねられる等が多い。」旨の回答があった。また、署長から「事故形態は出会い頭事故が多く、特異なものとして、最近では、三重玉突き事故や、駐車場においてブレーキとアクセルを踏み間違え、店舗に衝突したものなどがある。」旨の回答があった。
- 委員から「運転が危険な人には、何らかの安全機能装置を勧めるなどし、交通事故に歯止めをかけているのか。」旨の質疑があり、交通課長から「安全機能付きの車等をお勧めしている。しかし、ほとんどの方が自身の運転を危険とは思っていない。」旨の回答があり、署長から「運転免許返納に向け、臨時適正検査を受けていただく等の措置を行っている。また、意識の高い方は自ら返納している。」旨の回答があった。
- 委員から「運転免許の返納率はどうか。」旨の質疑があり、交通課長から「返納率は算出していないが、5月末時点の返納数は121件である。」旨の回答があった。
- 委員から「市町村によっては、運転免許を返納したらタクシー券の配布等の制度があるので、警察から、小郡市に対して高齢者運転に対する危機感を持たせて欲しい。」旨の意見があり、交通課長から「久留米市等は3年間3万円のタクシー券の支給等があるが、小郡市の予算の兼ね合いがある。」旨の回答があり、署長から「小郡市は危機感を持っており、会議を設け、医師を交えての検討等、対策を行っている。大刀洗町も、自治会で交通手段の確保をし、高齢者の運転の機会を減らす取組を進めている。また、警察も交番連絡協議会等の機会を通じ、これらの取組を一般に浸透させている。」旨の回答があった。
- 委員から「外国人の交通事故当事者の割合はどのくらいか。」旨の質疑があり、交通課長から「外国人の交通事故の割合の統計はないが、発生は少ない。」旨の回答があり、署長から「外国人は自転車での移動が多いことも、事故が少ない一因である。小郡警察署から出張型の留学生向け交通マナー教室等を行っているので、その効果もあると思われる。」旨の回答があった。

【新型コロナウイルス感染症にかかる警察の対策について】（総務課長）

- 1 県内の新型コロナウイルス感染状況について
- 2 小郡警察署における対策について

【地域見守りネットの現状と今後について】（生活安全課長）

- 1 登録推進状況について
- 2 マスコットの公募について

【質疑応答】

- 委員から「地域見守りネットの情報提供の主体はドライブレコーダーだけか。」旨の質疑があり、署長から「ドライブレコーダーの他、仮に携帯電話で写真や動画を撮った方がいれば、その画像等を提供していただき、目撃情報があれば口頭で情報提供をいただくものであり、限定はしていない。」旨の回答があった。
- 委員から「各種通知はメールで行われるのか。」旨の質疑があり、署長から「ツ

議 事 概 要

ールとしてはメールしかない。時間の経過で画像等の記録が上書きされる等して消滅しないよう、タイムリーに伝えるためにこのシステムへの登録をお願いしている。」旨の回答があった。

- 委員から「学童や学校関係の情報メールとタイアップすれば、かなりの人数に情報を知らせることができるのではないか。」旨の意見があり、署長から「県警で運用している安全安心メールは、痴漢やつきまとい発生等の情報について、学校関係のメールにもリンクしているが、地域見守りネットは、例えば重要事件発生時、事件の発生を報道できない状況であっても、本部と協議し、事件名を伏せたうえで、特定の場所や時間に関する情報提供を求めるメールを発信するものであるため、目的が異なっている。」旨の回答があった。
- 委員から「現在の登録者は、こういった経緯で地域見守りネットを知り、登録しているのか。」旨の質疑があり、署長から「企業単位で警察活動に協力いただいているところやドライブレコーダー設置店、交通安全協会、安全運転管理者等連絡協議会に加盟しているなどの様々な企業に登録をお願いしている。」旨の回答があり、生活安全課長から「新聞報道で知り、警察署に尋ねに来て登録した方もいるが、これは少数である。」旨の回答があった。
- 委員から「回覧板を利用してはどうか。」旨の意見があり、生活安全課長から「回覧板はコロナウイルスの影響で全て停止されており、広告をコミュニティセンターに直接持ち込み、掲示してもらう等している。」旨の回答があった。
- 委員から「まだ広告は残っているか。」旨の質疑があり、生活安全課長から「残り少なくなっているが、また新しいものを作成しているところである。」旨の回答があり、署長から「福岡県警ホームページの小郡警察署のページにも掲載されている。」旨の回答があった。
- 委員から「このシステムは小郡警察署独自のものか。」旨の質疑があり、署長から「当署だけのものである。運用開始から今日まで、当署管内において大きな事件等の発生はなく、いかず機会がないのは幸いである。」旨の回答があった。
- 委員から「地域見守りネットは、事件解決のためのものか。」旨の質疑があり、署長から「そのとおりであるが、これが浸透すれば、犯罪者に対し、走っている車があるだけで、「もしかしたら自分の犯罪行為が映るかもしれない。」と思わせることで、犯罪の抑止に繋がり、この防犯効果も大きな狙いのひとつである。」旨の回答があった。
- 委員から「登録目標はどれくらいか。」旨の質疑があり、署長から「登録目標数は管内住民の1割である。」旨の回答があった。
- 委員から「型にはめず、「楽しく見守ろうよ。」という雰囲気を作る方が良いのではないか。」旨の意見があり、あわせて他の委員から「シニア向けのスマートフォン教室等で、アプリケーションを練習で入れてもらえば良いのではないか。」旨の意見があった。
- 委員から「マスコットの応募について、賞金等はあるのか。」旨の質疑があり、生活安全課長から「広告にも掲載しているが、優秀賞、参加賞があり、関わっていただいた方には何らかの形でお礼はしたい。」旨の回答があった。

【閉会】

以上で、令和2年度第1回小郡警察署協議会を閉会する。